

トヨタ純正 合金鋼チェーンスペシャル取扱書

このたびは、トヨタ純正合金鋼チェーンスペシャルをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用の前に、必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容にしたがってお使いください。
本書は紛失しないよう車の中に保管してください。なお、本品を他のお客様にお譲りになる時は必ず本書も合せてお渡してください。

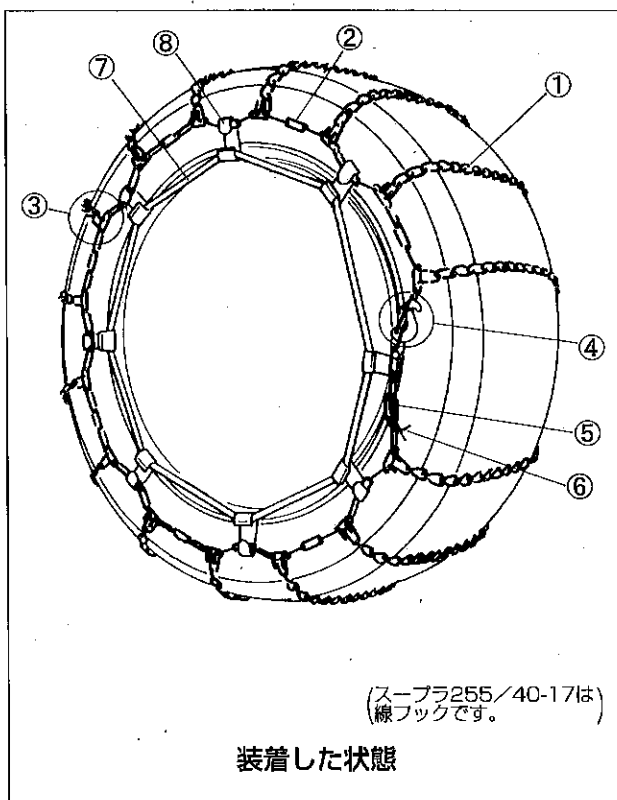
アドバイス

チェーンをお買い上げになった後は必ず「取り付け（装着）練習」を行ってください。氷雪路での初めての取り付けは事故につながるおそれがあります。

1

セット内容と各部の名称

このセットは以下の内容で構成されています。使用前は必ず、お確かめください。



- | | | |
|------------|-------|-----------|
| 1. チェーン本体 | | 2本 (同じもの) |
| 2. チェーンバンド | | 2本 (同じもの) |
| 3. 装着アーム | | 1本 |
| 4. 取扱書 | | 1部 |
| 5. 針金 | | 2本 (同じもの) |

- ①クロスチェーン ②サイドチェーン ③コネクター
④板フック ⑤調整リンク ⑥針金 ⑦チェーンバンド
⑧クリップ

2 使用前の注意事項

本文中の **▲注意**、**👉アドバイス** マークの文章は以下のような意味になっています。

▲注意 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあります。

👉アドバイス より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

1. 適合タイヤサイズについて

- チェーンは必ず適用車両の適合タイヤサイズに取り付けてください。

▲注意

- ・適用車両の適合タイヤサイズ以外のタイヤに取り付けますと車体に接触し、チェーン本体の破損、車両の損傷、チェーンの脱落のおそれがあり危険です。
- ・適用車両の適合タイヤサイズについてはトヨタ販売店にご確認ください。
- ・適合タイヤサイズは、ケース側面のステッカーに記載されています。必ずご確認ください。
- ・スタッドレスタイヤ、再生タイヤなど特殊なタイヤについては、本セットが装着できない場合があります。

2. 車両への装着について

- チェーンは車両の「取扱書」でご確認のうえ、必ず駆動輪に装着してください。

F F 車（前輪駆動車）は前輪、F R 車（後輪駆動車）は後輪です。4WD 車（4輪駆動車）は車両の「取扱書」で指示している車輪に装着してください。

▲注意

- ・非駆動輪に装着しては効果が出ず危険です。
- ・片輪のみの装着や異種のチェーンの併用は、ブレーキの片効き、操縦安定性の低下の原因となり危険です。必ず左右同一セットのペアで装着してください。

- チェーンの装着場所は他の交通の妨げにならない広い平地か指定された場所で行ってください。

▲注意

- ・路上でのチェーンの着脱は他の交通を事故に巻き込むおそれがありますので絶対にしないでください。
- ・坂道でのチェーンの着脱は車両が傾き危険ですから絶対にしないでください。

👉アドバイス

タイヤチェーンを装着して走行すると、アルミホイール、ホイールキャップ、タイヤサイドの意匠（文字）等をキズ付ける場合があります。

3 走行中の注意事項

1. 試走行について

- チェーン装着後、200～300m試走行をして、異常がないことを確認してください。

👉アドバイス

- ・装着不良による異常音が出た場合は、正しい装着ができていません。直ちに安全な場所に車を止め、正しく装着しなおしてください。
- ・チェーンバンドがゆるくなっていたり、サイドチェーンの引張りが弱くなっている場合なども、サイドチェーンを正しく締め直してください。

2. 通常走行について

●チェーンを装着した時は必ず30Km/h以下で走行してください。

▲注意

30km/h以上で走行するとタイヤチェーンにかかる負荷が大きくなりチェーンが切断したり、車体に接触したり、横すべりなどをおこし事故につながる危険があります。

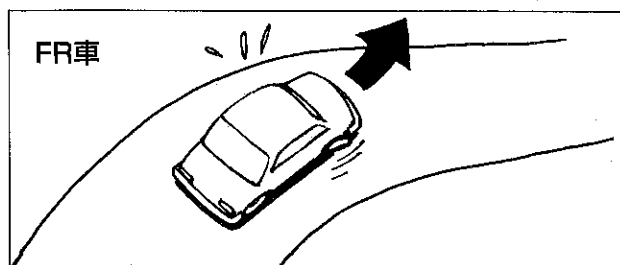
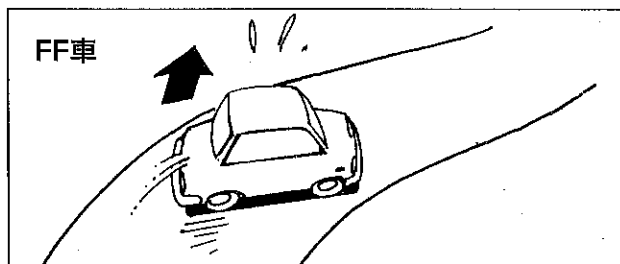
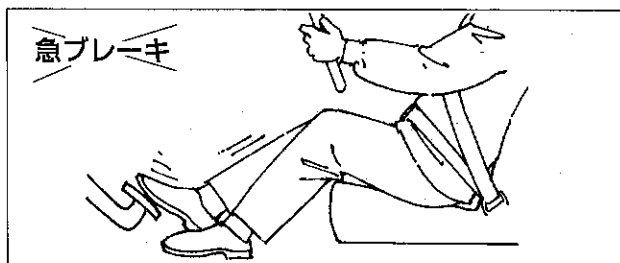
●急発進、急ハンドル、急ブレーキは絶対にしないでください。

▲注意

- ・急発進はタイヤが空転し、かえってスムーズな発進ができません。場合によってはチェーンが切れたり、チェーンがすべって車両の方向が傾き、真直ぐ進まない場合があります。
- ・チェーンを装着したタイヤと装着しないタイヤでは雪路、凍結路でのすべり止めの性能が大きく異なります。急ハンドルは車両の走行安定が損なわれ、たいへん危険です。
- ・急ブレーキはスリップをおこしやすく、車両の走行安定が損なわれ、事故につながる危険があります。

👉アドバイス

- ・カーブを曲がる時は、手前の直線道路で確実に減速します。カーブでブレーキを踏むとFF車では後輪が、FR車では前輪が横すべりしやすくなります。また、凍結路では車輪がロックして曲がらずにスリップすることがあります。
- ・ブレーキ操作は何回にも踏み分けるポンピング操作をしてください。
- ・車間距離も通常より多くとって安全運転に心がけてください。



●坂道を運転する時には最も慎重な運転をしてください。

▲注意

- ・上りカーブを運転する時にスピードを出し過ぎると、車両の走行安定が損なわれやすく危険です。路面状況に合ったスピードで、一定速度で走行してください。
- ・下りカーブを運転する時は、ブレーキを踏むと横すべり、尻振りなどをおこし事故につながる危険があります。曲がる手前で確実にスピードを落として、エンジンブレーキを使用して一定速度で走行してください。

●スタック（立ち往生）した時は、むやみに高速連続空転をさせないでください。

👉アドバイス

- ・チェーンを装着したままタイヤを高速連続空転させるとチェーンが切断し、車両をキズ付けることがあります。

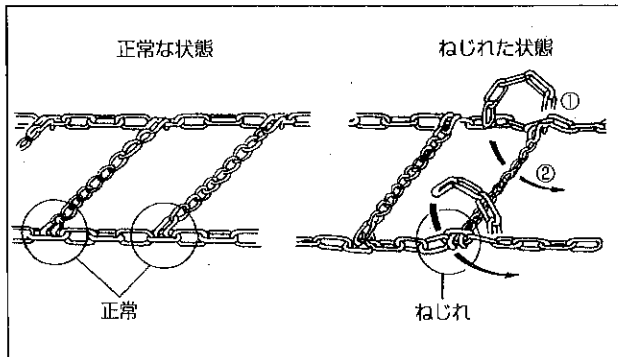
●積雪路、凍結路以外で、タイヤチェーンを装着したままの連続走行はしないでください。

👉アドバイス

- ・乾燥路等での走行はチェーンの磨耗が早くなり、早期切断の原因になるばかりか、走行性能も低下します。

4 タイヤチェーン取り付け方法

タイヤチェーンの取り付け方にはジャッキアップして取り付ける方法と、ジャッキアップしないで取り付ける方法があります。



●チェーンの取扱いには、ケガ汚れ防止のために手袋を使用してください。

A. ジャッキアップしないで取り付ける方法

1. チェーンのネジレを確認

チェーンを路面に広げて、ネジレのないことを確認します。ネジレている場合は図のように、サイドチェーンがコネクターにからんだ状態になります。

●ネジレた状態の時は、矢印 (①→②) のようにくぐらせることで、正常の状態になります。

●ネジレたままでは装着できない場合や、タイヤをキズ付けることがあります。チェーンの寿命も短くなります。

2. 取り付け

(1) パーキングブレーキを引きエンジンを止めチェンジバーをマニュアル車は1速、オートマチック車はPの位置にします。タイヤ止めを使用して、車両が動かないようにします。

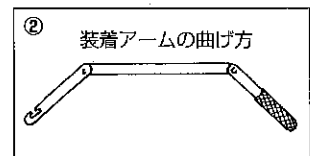
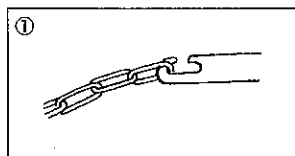
(2) チェーンを、板フックが路面より5cm程度浮くようにタイヤにかぶせます。その際、コネクターの折曲げ部が外側(タイヤ面に接しない側)に、板フックがタイヤ外側、線フックがタイヤ内側にくるようにタイヤにかぶせます。

アドバイス

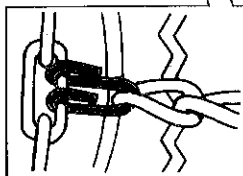
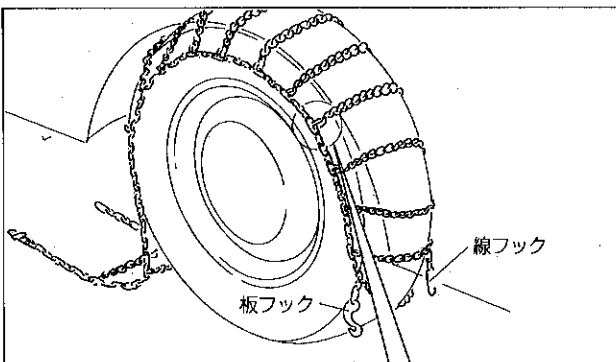
- ・スーブラ255/40-17用は外側も線フックです。サイドチェーンの長い方がタイヤ外側、短い方がタイヤ内側になるようにタイヤにかぶせてください。逆につけるとゆるめ装着になりますので注意してください。
- ・コネクターの折り曲げ部が内側(タイヤ面に接する側)にくると、タイヤ表面にキズを付けることがあります。
- ・板フックがタイヤ内側になると、増し締め操作がやりにくくなります。ゆるめの装着になる場合が多いので注意してください。

(3) 内側サイドチェーンの端末を装着アームに掛ける。

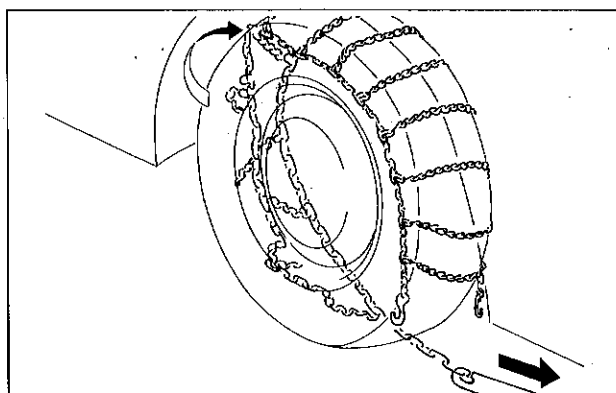
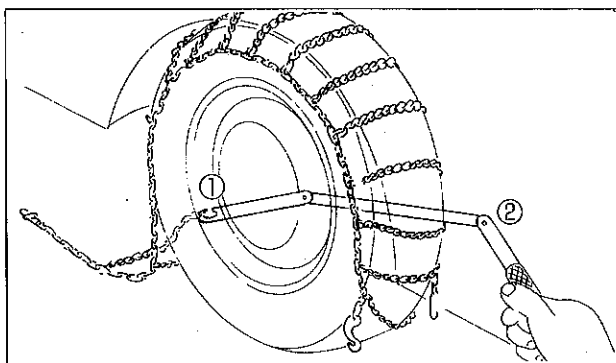
●アーム先端のひっかけ部の開きが奥側に向くようにすると操作中はずれにくい。

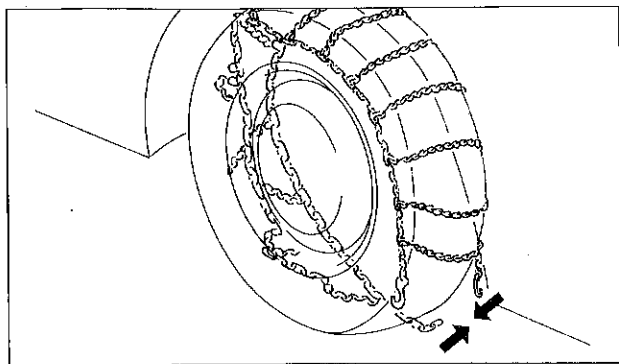


(4) 外側のサイドチェーンをタイヤ内側に寄せ装着アームを引っ張って内側のサイドチェーンをフック側に引き寄せる。

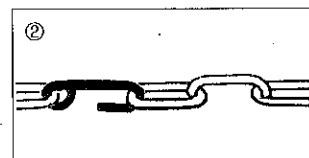
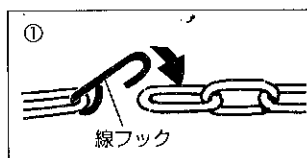


コネクターの折曲げ部は外向きになります。

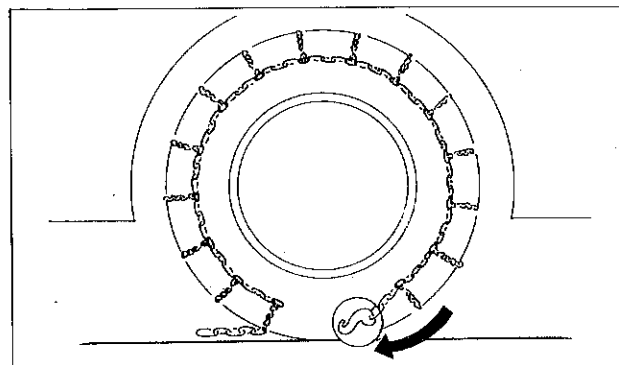




- (5) 内側のサイドチェーンの端末と線フックを連結します。



線フックをサイドチェーン端末に引掛ける。

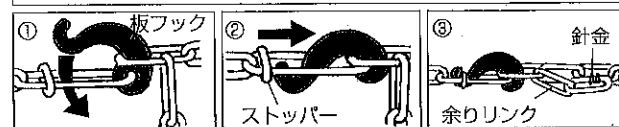


- (6) チェーンをタイヤに平均してかぶせ外側のサイドチェーンを仮に結んだ後車を少し移動させ、余りリンクを最も張られた位置で増し締めをして連結する。
スープラ255/40-17用は外側も、線フックですので最も張られた位置で連結してください。

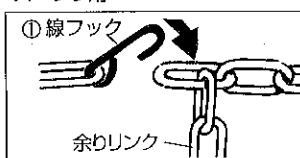
👉 アドバイス

余りのリンクは、必ず針金でしばってください。
そのままにして走行すると車体（フェンダー等）に当たる場合があります。

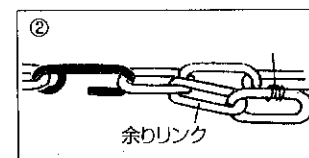
スープラ用



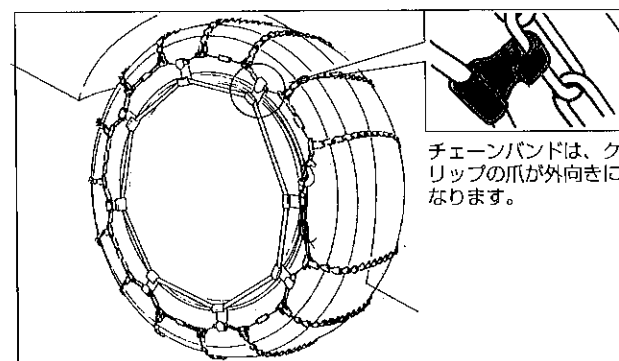
① リンクを板フックに掛 ② ストッパーを移動し板 ③ 余りのリンクを針金で
けます。 フックを固定します。 しばります。



線フックをリンクに引掛けます。



余りのリンクを針金でしばります。



チェーンバンドは、クリップの爪が外向きになります。

- (7) バンドのクリップが、等間隔になるようにチェーンバンドを掛けます。

👉 アドバイス

- ・チェーンバンドを付けないで走行すると、チェーンが遠心力でふくらみ、車体（フェンダー等）に当たる場合があります。
- ・クリップの爪が外向きになるように掛けてください。
クリップの爪が内向き（タイヤ面に接する側）になると、タイヤ表面にキズが付く場合があります。

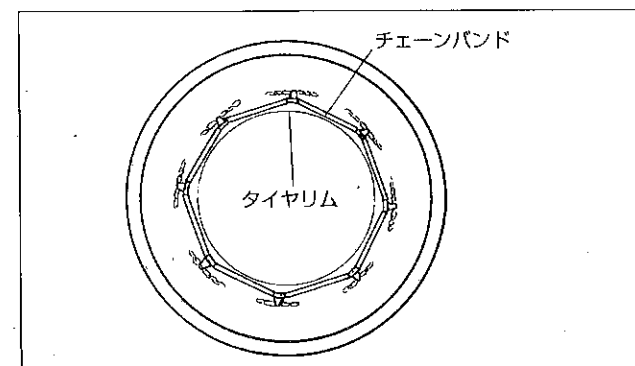
3. 取り付け状態の確認

- (1) チェーンがゆるくないかを確認する。
 - チェーンバンドがサイドチェーンを引きつけ、正しく張られていることを確認してください。
ゆるい場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。
- (2) チェーンの掛かりが、タイヤに対して片寄りがないことを確認します。片寄っている場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。
 - 片寄りのない付け方は、図のようにチェーンバンドがタイヤの中央で均等になっている状態です。

👉 アドバイス

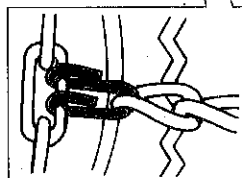
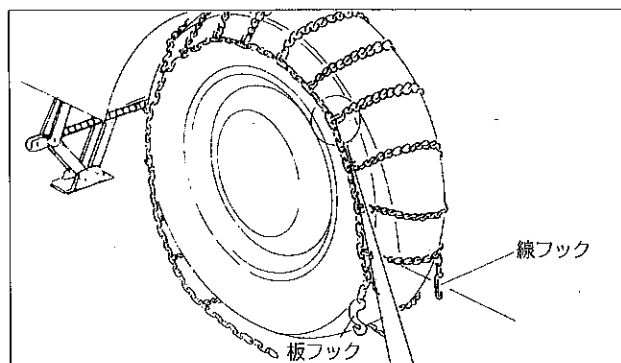
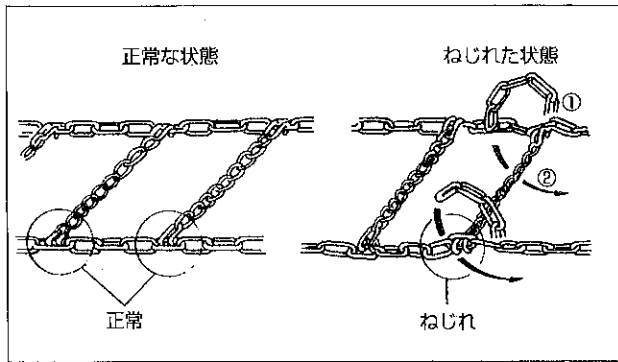
片寄ったまま走行すると、コネクターを踏んだり早期切損につながり危険です。

- (3) 全ての確認が終わったらタイヤ止めを外します。

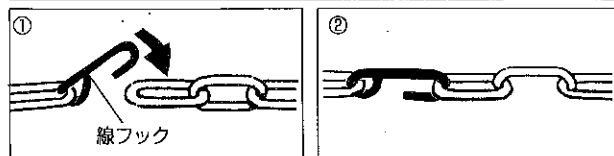
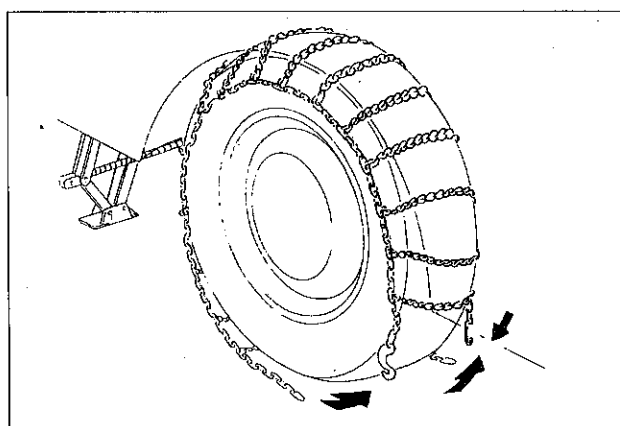


チェーンバンド

タイヤリム



コネクターの折曲げ部は外向きになります。



線フックをサイドチェーン端末に引掛ける。

B. ジャッキアップして取り付ける方法

1. チェーンのネジレを確認

チェーンを路面に広げて、ネジレのないことを確認します。ネジレている場合は図のように、サイドチェーンがコネクターにからんだ状態になります。

- ネジれた状態の時は、矢印 (①→②) のようにくぐらせることで、正常の状態になります。
- ネジれたままでは装着できない場合や、タイヤをキズ付けることがあります。チェーンの寿命も短くなります。

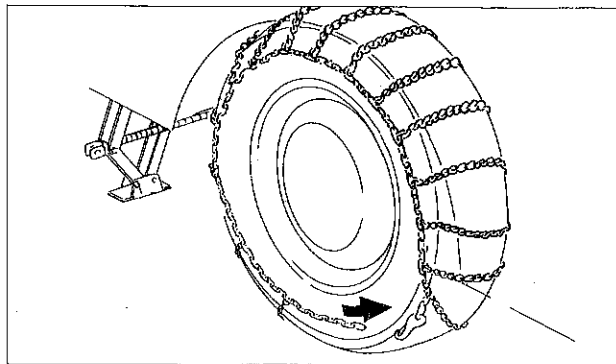
2. 取り付け

- (1) パーキングブレーキを引きエンジン止めチェーンをマニュアル車は1速、オートマチック車はPの位置にします。タイヤ止めを使用して下さい。
- (2) 車両をジャッキアップして、タイヤを完全に浮かします。
 - ジャッキの使い方については、車両の「取扱書」をお読みください。
- (3) チェーンを板フックがタイヤ下部より5cm程度上にくるようにタイヤにかぶせます。その際、コネクターの折曲げ部が外側（タイヤ面に接しない側）に、板フックがタイヤ外側、線フックがタイヤ内側にくるようにタイヤにかぶせます。

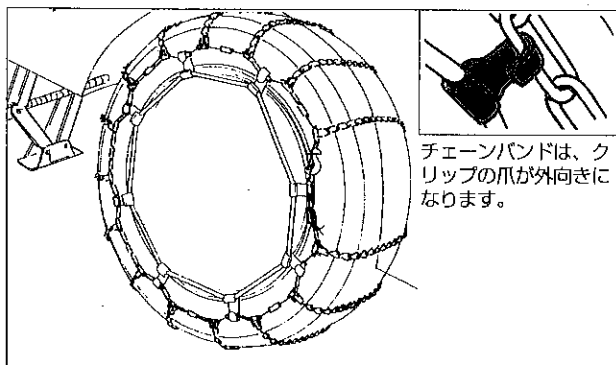
アドバイス

- ・スーブラ255/40-17用は外側も線フックです。サイドチェーンの長い方がタイヤ外側、短い方がタイヤ内側になるようにタイヤにかぶせてください。逆につけるとゆるめ装着になりますので注意してください。
- ・コネクターの折り曲げ部が内側（タイヤ面に接する側）になると、タイヤ表面にキズを付けることがあります。
- ・板フックがタイヤ内側になると、増し締め操作がやりにくくなります。ゆるめの装着になる場合が多いので注意してください。

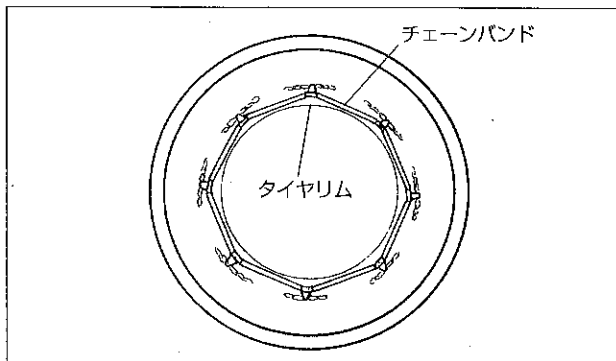
- (4) サイドチェーンの調整リンク側（板フック、線フックのついていない側）を、浮かしたタイヤの下部からフック側にゆっくり引き寄せます。
- (5) 内側のサイドチェーンの端末と線フックを連結します。



① リンクを板フックに掛けます。
② ストッパーを移動し板フックを固定します。
③ 余りのリンクを針金でしばります。



チェーンバンドは、クリップの爪が外向きになります。



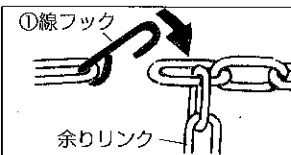
(6) 外側サイドチェーンをタイヤに平均してかぶせて最も張られた位置で板フックと連結します。

● スーブラ255/40-17用は外側も線フックです。最も張られた位置で連結してください。

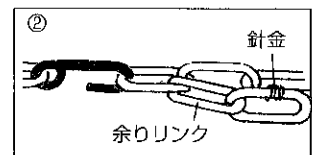
アドバイス

余りのリンクは、必ず針金でしばってください。
そのままにして走行すると車体（フェンダー等）に当たる場合があります。

スーブラ用



① 線フック
線フックをリンクに引掛けます。



② 針金
余りのリンクを針金でしばります。

(7) バンドのクリップが、等間隔になるようにチェーンバンドを掛けます。

アドバイス

- ・チェーンバンドを付けずに走行すると、チェーンが遠心力でふくらみ、車体（フェンダー等）に当たることがあります。
- ・クリップの爪が外向きになるように掛けてください。クリップの爪が内向き（タイヤ面に接する側）になると、タイヤ表面にキズが付くことがあります。

3. 取り付け状態の確認

(1) チェーンがゆるくないかを確認する。

- チェーンバンドがサイドチェーンを引きつけ、正しく張られていることを確認してください。
ゆるい場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。

(2) チェーンの掛かりが、タイヤに対して片寄りがないことを確認します。片寄っている場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。

- 片寄りのない付け方は、図のようにチェーンバンドがタイヤの中央で均等になっている状態です。

アドバイス

片寄ったまま走行すると、コネクターを踏んだり早期切損につながりたいへんにあぶないです。

(3) 全ての確認が終わったら、ジャッキをおろします。

- タイヤ止めは、左右のタイヤにタイヤチェーンを装着してから外します。

5 取り外し方法

取り外しの際には、ジャッキアップは必要ありません。次の手順に従ってください。

●チェーンを取り外す際には、ケガ汚れ防止のため手袋を使用してください。

(1)板フックが斜め45°程度右下または左下の位置になるように車両を止めます。

この位置が、取り外し作業がスムーズになります。

(2)チェーンバンドを外します。

●下側のフックから、体重をかけながら外すとスムーズに作業できます。

(3)外側板フックを外します。(スーブラ255/40-17用は線フックです。)

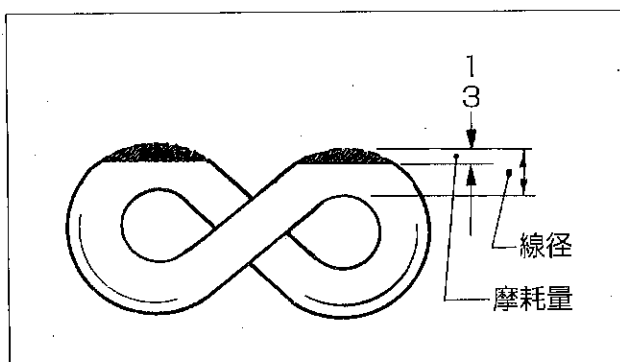
(4)外側のサイドチェーンを両側に拡げて、内側のサイドチェーンをゆるめます。外側のサイドチェーンを、内側に落とさないようにしてください。

(5)内側線フックを外します。

(6)内側のサイドチェーンを外側に引き出します。

(7)車両を移動して、取り外し作業は完了です。

6 使用限度・保管方法その他



1. 使用限度について

チェーンは消耗品です。次のような場合は使用しないでください。

- クロスチェーンが左の絵のように、1ヶ所でも線径の3分の1まで摩耗した場合。
- チェーン本体の1ヶ所でも、破損があったり、キズやはずれがある場合。
- ゴムバンドに破損やキズがある場合。

▲注意

使用限度を越えてチェーンを使用すると事故の原因になるおそれがあります。

2. 保管方法について

- 長時間使用しない時は、水洗い後乾燥させます。そして防錆油などをうすく塗ってからケースに入れて保管してください。

👉アドバイス

使用後はネジレ防止のため、板フックをかけておいてください。